

スマイルハート

No.56

11

2018 November

志を高く 絆を深く 魅力ある
『農』と『地域』を未来につなぎます



[特集] 平成30年産 花き・花木出荷販売会議



公式Facebook



LINE@さわやか日高



工夫して栽培に取り組む
プレミアムなミニトマト作り

紀州農語

今回ご紹介の作物
【ミニトマト(アイロ)】

美浜町和田

くぼ ひろみ
久保 博巳さん(61才)

ミニトマト 20a、水稲 2.5 ha、
マコモダケ 2 aを奥さんと
栽培しています。



農業の知識を学んでから就農 ミニトマトの栽培に挑戦

就農して40年目になる博巳さん。農業短期大学で3年間、勉強してから家の農業を受け継ぎました。当時は、甘夏を作っていました。ミニトマトの栽培に挑戦したい思いがあり、30年前に転換してミニトマト栽培をスタートしました。近所の農家の先輩方から教わりながら、知識や技術などを学んだと言います。



また4年前から、県の推進運動で新たにマコモダケの栽培を始めました。

栽培しやすい工夫を 高品質なミニトマトを目指す

ミニトマトは11月〜翌年7月上旬に収穫します。博巳さんは「ミニトマトの草勢の調整、バランスを良くするのが難しいです。土づくりに松葉堆肥を加え、栽培しやすく工夫をしています。高品質でプレミアムなミニトマトを目指し

ています」と話します。

今年の台風で被害を受けましたが早期に復興し、順調に栽培できているそうです。今年度、20㌫の出荷量を目標に取り組んでいきたいと博巳さんは意気込んでいます。

アイコ研究会結成し 栽培技術などを磨く

今年から日高北部ミニトマト部会アイコ研究会が結成され、博巳さんはリーダー的存在となっています。前年までも、個人的に様々な勉強してきました。今後、ミニトマト栽培が盛んな地域と交流して、栽培知識、技術などを磨いていきたいと言います。

常に『高品質』を意識して栽培に取り組み、また新しいことにもチャレンジしたい向上心溢れる博巳さん。「ミニトマトは安心・安全を心掛けていますので、美味しく食べてもらいたいです。またマコモダケをもっと広めていきたいし、栽培面積を増やしていきたいです」と笑顔で話してくれました。

紀州農語り……………2

特集……………4

平成30年産

花き・花木出荷販売会議

トピックス……………6

あぐりガイド……………10

インフォメーション……………15

紀州紹介コーナー……………17

読者の広場……………18

表紙紹介……………19





自己改革

魅力ある力強い産地を目指して！

平成30年産 花き・花木出荷販売会議

10月25日、花き・花木部会は、がいなポートで平成30年産花き・花木出荷販売会議を開催しました。仙台から姫路までの市場11社、県、市町村、県農、生産者約40人、JA役員など出席しました。

花き・花木部会仮家部会長から「今年は台風の影響がありました。順調に回復しており、花の出荷がこれから本番を迎えます。市場の方々には本年産も積極的な販売をお願いします」と挨拶を述べました。

☆花き生育概要(御坊・日高川地区)について

御坊営農販売センター平野営農指導員から報告。本年産の花き類の一般的な生育は、定植時期のピークである8月中旬から9月下旬にかけて三度の台風が上陸し、全体的に遅れ傾向となりました。

しかし、その後の天候は比較的安定したため、生育は回復傾向で本格的な出荷に向けて準備を整えています。また、JA紀州特産の『スターチス』『カスミソウ』をはじめ、全9品目の生育の詳細を説明しました。

☆平成30年産 販売方針

●基本方針

御坊営農販売センター北原センター長から報告。販売環境については、消費の減退に拍車がかかっており、切り花の販売環境も依然厳しい状況が続いています。そのなか、消費者に求められる商品・

商品形態づくりと計画的な安定出荷を基本に、市場の重点化を図り販促企画の提案を強化し、農家所得の向上に努めます。

また、産地、市場、関係機関との連携をより強化し、品目リレーによる周年供給体制を活かし販売強化を図ります。

需要拡大としては、『和歌山フェア』の開催や『母の日参り』などイベントを活用し、関係産地との連携強化による新たな花きの需要創出、需要拡大に取り組みます。

●実施具体策

(1) 品質の安定、統一による信頼の拡充

品目部会組織の活動強化を図り、目揃え会の開催により季節に応じた切前を統一し、品質向上と充実に努めます。また、検査体制の強化により品質の高位平準化を図り、責任供給産地として長期計画安定出荷に努め、信頼される産地を目指します。

(2) 情報の発信による有利販売

がいなポートを拠点に、市場との連携を強化し、予約相対販売、D-2販売、ウェブ販売などの情報販売の共有化による市場対応力の強化に努めます。また、市場分荷業務の充実に、長期予約相対販売の拡大に努めるとともに、他産地の状況、市場並びに消費者の動向を把握し、販売チャネルを拡大し有利販売に繋がります。

(3) 消費拡大活動の強化

いい夫婦の日、フラワーバレンタイン、母の日参りなどのイベントにあわせて小売店と連携した販売促進に努めます。また、他J A、市場、他企業協力団体などとの連携強化による『J A紀州フェア』『母の日参り』のPRを行い、花の消費拡大を目指します。

☆主要品目別販売対策

【スターチス】

責任供給産地として、長期計画安定出荷と産地の出荷情報提供に努め、市場や消費者の信頼確保に努めます。

【カスミノウ】

優良品種及び定植時期の検討により、需要期の出荷量の安定と長期安定出荷体制の確立に取り組みます。

【ガーベラ】

周年出荷を通じ、需要期等の予約相対販売、D-2販売、日々の注文、年間予約相対など積



▲生産者から質問する様子

極的に取り組み、価格の安定向上を図ります。

【サカキ・シキミ・ビシヤコ】

中国産に対抗するため、選別を徹底し、高品質安定出荷に取り組みます。

【千両】

早期の出荷数量を把握し、市場調整を図るとともに、市場要望数量に対応します。

☆各市場と生産者の意見交換

各市場から、本年の花き花木販売への取り組みが報告され、意見交換会を行いました。市場担当者から「年末に向けて増えてくることを期待している」「情報発信を正確に消費者へ伝える」「国内産はこの産地しか仕入れてないから、全力で販売していきたい」「若手、後継者がいることで将来性が高いから期待している」などの意見が挙げられました。また、生産者から「これから順調に出荷が始まり、春は出荷量が増量する予定ですが、販売はどのようなようにしていただけるか」という質問に対し、市場から「母

の日参りでお客様からの問合せも増えてきている。4月頃にもお客様のニーズが、春はしっかりと応えていきたい」と熱心に伝えていました。閉会に当たり、花き花木部会山添副部会長より「J A紀州として責任を持って、しっかりと花を供給して参りますので、市場の方々の販売をよろしくお願いします」と挨拶を述べました。



✓ 食農教育支援
～自然の恵みに感謝する気持ちを育て～

自己改革

JAでは、地域の子供達の食農教育を支援しています。
営農指導員、くらしの活動課職員、青年部員、支店職員などがお手伝いしています。

稲刈り

10月2日 全校児童61人



バケツ稲

10月2日 5年生51人



バケツ稲刈り

10月9日 全園児7人



大根種まき

10月9日 年長39人



さつまい芋掘り

10月12日 4・5才児120人
1・2年生 46人



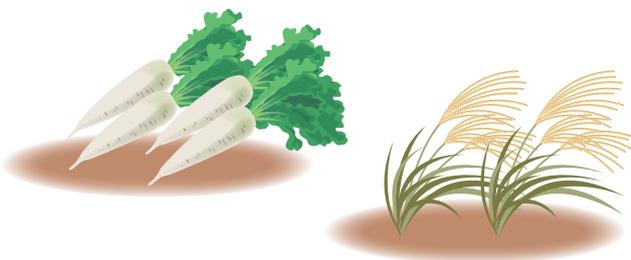
大根まびき

10月10日 全園児90人



冬野菜植え

10月12日 全校生徒22人

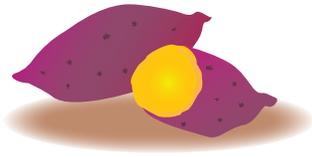


御坊幼稚園

10月22日 全園児90人



さつまいも掘り



冬野菜植え

10月17日 1年生11人、2年生16人



切目小学校

冬野菜植え

10月22日 全校生徒47人



江川小学校

第21回

J A紀州旗争奪

日高地区学童野球大会



内原少年野球クラブ



美浜少年野球クラブ



第21回J A紀州旗争奪日高地区学童野球大会を開催し、美浜少年野球クラブ、日高少年野球クラブ、由良スポーツ少年団野球クラブ、内原少年野球クラブが参加しました。
9月12日にアグリセンターひだかで抽選会および開会式を行い、由良スポーツ少年団野球クラブの石川真洋主将が選手宣誓をしました。9月22日、由良中学校グラウンドで試合を行い、熱戦が繰り広げられました。決勝戦は内原少年野球クラブと美浜少年野球クラブの対戦となり、4対3で内原少年野球クラブが勝利を掴みました。

個人賞	最高殊勲選手賞	山本 大輔(内原)
	殊勲選手賞	田端 晃大(美浜)
	優秀選手賞	酒井 粋希(内原)
		山田 幸太郎(美浜)
		濱口 友(日高)
	山田 佑星(由良)	

(敬称略)

自己改革
 ✓ 男性講座「粋」くらし道場
 第3回講座 魚のさばき方講習

10月23日、「魚のさばき方講習～旬の魚の姿造り『いっちょあがり！』～」を御坊市のおとやダイニングで開催し、受講生8人が参加しました。㈱森仁水産の森本隆夫氏、大川博氏指導のもと、新鮮なアジを1人1匹ずつさばきました。包丁の入れ方、美しい盛り付け方を学び、経験者も初挑戦の方も、真剣な表情で取り組んでいました。できあがった刺身は昼食としていただき、「自分でさばくとさらに美味しい」と、受講生たちは舌鼓を打っていました。



▲真剣に魚をさばく受講生

自己改革
 ✓ 女性大学ヴィーナス
 第4回講座 フライパンでピザ作り

10月22日、和佐加工所で『たっぷり野菜のトッピングで世界にひとつ、あなただけのピザ作り』を開催し、受講生14人が参加しました。講師として野菜ソムリエプロ料理研究家の吉野健一氏を招き、フライパンで作れる簡単ピザを教えていただきました。丸くのぼした生地にトマトソースを塗り、トッピングのチーズ、ベーコン、マッシュルームなど自分好みに合わせたピザを焼き上げました。受講生は「彩りが綺麗になるようにトッピングしました。家でも作ってみようと思います」と話しました。



▲オリジナルピザが完成！

自己改革
 ✓ 県内JA女性会大運動会
 JA紀州が総合優勝に輝く

10月4日、和歌山ビッグホールで「いい女祭典2018～みんなでめざそう11,007(いいおんな)」が開催されました。

JA紀州から女性会員43人が参加し、全5種目の競技に出場。見事なチームワークで総合優勝に輝きました。会場は、声援で溢れ、勝利した競技には皆で喜び、笑顔でいっぱいでした。

また、スコップ三味線とフラダンスの披露もあり、会場が盛り上がりました。



▲奮闘する女性会員の皆さん



◀熱心に応援するチーム紀州

自己改革
 ✓ 女性倶楽部パール
 第3回講座 人生の歩みを描いてみよう

10月24日、JA紀州本店で『ハッピーマイライフセミナー』を開催し、15人が参加しました。講師として、家の光協会から普及文化本部記事活用促進部長の弥富まり氏を招き、『エンディングノート』の作成方法のポイントを教えていただきました。自分にもしものことがあった場合にどれくらい準備できているのかをチェックシートに記入して、自分の人生の終わりを決めているかを確認しました。受講生は「今まで意識していなかったことなので、とても良いきっかけになってよかった」と話しました。



▲弥富氏(左)からアドバイスを受ける受講生

12月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ
 牡羊座 3/21~4/19 【全体運】 興味のあることに思い切ってトライしてみたい時期。攻めの姿勢が幸運のポイントに。遠出のドライブも刺激的 【健康運】 不規則な生活リズムを正すと好転の兆し 【幸運を呼ぶ食べ物】 エリンギ

✓ 弓場さんが宮子姫に任命！ 宮子姫みなとフェスタで活躍

9月21日、御坊商工会等で作る宮子姫実行員会により、第7代目宮子姫としてJA紀州名田支店の弓場蝶乃さん、きのくに信用金庫の野口美晴さんが選ばれ、任



▲左から弓場さん、野口さん

命式が行われました。1年間、宮子姫として御坊・日高地域の各イベントに参加します。

10月14日、塩屋町の日高港で宮子姫みなとフェスタが開催され、弓場さん、野口さんが衣装を着て、時代行列に並んで行進しました。また、JA紀州から特産のミニトマト、ゆら早生を販売しました。

✓ 営農販売 トピックス

● 総会

9月21日、みなべいなみ豆部会はホテル&リゾート和歌山みなべで総会を開催し、125人が出席しました。また、次年度の販売戦略の確認や勉強会も行いました。



10月25日、JA紀州・中央花き花木部会は、がいなポートで総会を開催し、40人が出席しました。全議案が承認されました。



✓ 女性会ニュース

● 川辺ブロック 講習会

9月25日、川辺ブロックは無水鍋講習会を開催しました。講習会で、『無水鍋は使いこなすほど便利さを実感！使い方のおさらいや新たな調理方法』など様々教えていただきました。



● 活動報告

みはまブロック東支部の有志会員が、夏にひまわりを植えていた休耕地に、コスモスの種をまき、10月下旬に満開となりました。会員達が世話をして立派に育ち、地域の方々



● トップセールス

10月5日、2市場でゆら早生のトップセールスを行いました。東京都の大田市場では畑中雅央由良町長、津村耕平専務、ゆら撰果場運営委員会役員が参加しました。また、大阪中央青果市場では、久留米啓史日高川町長、芝光洋組合長、中央柑橘部会役員が参加し、ゆら早生初売りの競り前にPRを行いました。



▲大田市場の様子



牡牛座

4/20~
5/20

【全体運】 マイナス思考になりやすく、周囲ともめそう。意識的に笑顔を心掛けて。気分転換にはハーブを使った料理を
【健康運】 ストレッチなど、ゆったりした運動が◎ 【幸運を呼ぶ食べ物】 シュンギク



梅園管理について

白紋羽病防除

* 枯れた樹の根は、掘り上げ園外に出します。

* 定植時に苗木に、フロンサイド SC 500倍を1本当たり50〜100L 灌注して下さい。

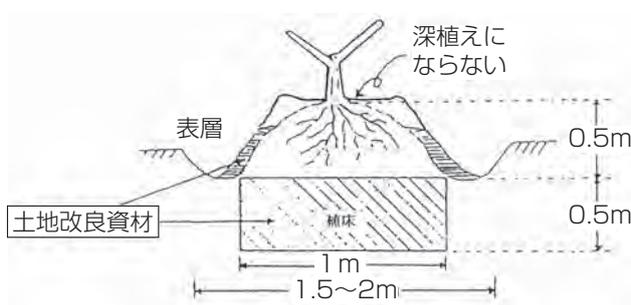
新植・補植穴の準備（1穴当たり）の土壌改良資材の施肥例

- 苦土セルカ2号（2kg） 又は 苦土石灰（2kg）
- ハイフミン（20kg） 又は アヅミン（2kg）を施用して、土とよく混和しましょう。

- 梅一発（14〜11〜13）180日タイプを1穴あたり1kg入れて下さい。

苗木の定植

- 高畝にして植えます。
- 接木部は、必ず地上部に出します。
- 定植後灌水します。（20ℓ/本）
- 植栽は、年内中に行います。



土づくり（根を元気に！安定生産するための重要な対策です）

秋〜冬は土づくりの時期です。特に石灰は酸性の矯正だけでなく、梅は石灰の吸収量が多く、根・枝・果実など様々な器官に多く利用されます。毎年必ず施用して下さい。

土づくり資材(10a当たり)

牛糞堆肥	2,000kg
しがらき有機	2,000kg
ココピートオールド	60袋
ハイフミン	200kg
アヅミン	100kg

土壌改良剤(10a当たり)

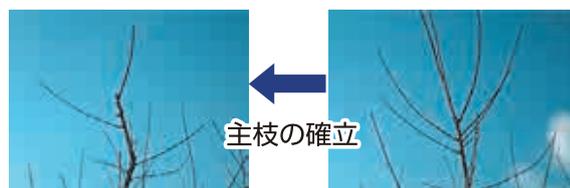
苦土セルカ2号	120kg
苦土石灰	100kg

排水対策

排水不良園・水田転換園等の園地では、排水対策が必要です。この時期に明きよや暗きよを実施して下さい。また地下水位の高い場所等については、客土等も実施して下さい。

黒星病多発園

• 12月中旬頃まで 石灰硫黄合剤10倍を散布し越冬病斑を減らして下さい。



※塩害の影響で樹勢が低下している園地は使用を控えて下さい。（花が膨らんでくると薬害が発生する場合があるので注意）（防護メガネ・カップ・手袋着用）

- 3月中 黒星病の薬剤を散布
- 4月中 スコア顆粒水溶剤を散布

整枝・剪定（剪定の順序）

- ①主枝（一番太い枝）の先端より行います。
- ②亜主枝・側枝も同様に行います。
- ③細かい部分にとらわれず、太い不必要な枝の間引きに心掛けます。
- ④主枝は2〜3本・亜主枝は主枝に対して2〜3本を基本とします。



双子座

5/21~6/21

【全体運】 勢いはあるものの、ちょっとしたことでベースを崩しがち。いつまでも過去を引きずらないで。芸術鑑賞につき【健康運】 リラックスしていると運気に好影響あり 【幸運を呼ぶ食べ物】 サツマイモ